

# 大雨による 土砂災害等への対策は

## マニュアル等の体制を 整えている



堰野端 展 雄  
(高志会)

**議員** 全国的に局地的な大雨の発生頻度が増加傾向にあり、先日当市でも記録的な大雨により土砂災害が起きた。これらの土砂災害等の対策は。

**総務部長** 市内には県が指定した土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域があり、ハザードマップを作

成し、該当する区域を周知するため対象となる世帯へ配布するとともに、市ホームページでも閲覧できます。災害への対応としては、土砂災害を含む風水害に備えてマニュアルを作成し、県や気象庁等の情報をもとに避難勧告等を発令する基準を定めるとともに、消防署や消防団の巡視や地域住民からの情報をもとに、早い段階で避難勧告等の判断、発令を出せるよう体制を整えています。

事業に加え、国の補助事業を活用して新たに北里大学と連携し、全国で初めて獣医師志望の高校生を対象とした修学資金制度を創設しています。今後は県で実施している動物の診療等を体験できる職場体験研修の事業があるので、研修の受け入れ先として市内の牧場を活用するよう協力を申し出たいと考えています。また、北里大学の学生に対して、この研修への参加を働きかけるなど、当市が獣医師としてやりがいのある地域であることを認識していただき、獣医師として就業してもらえよう努めたいと考えています。

**議員** 近年、獣医師の数が全国的に減少し、県内においても確保が難しいとの報道があった。県内一の畜産生産地として獣医師の確保は必須であり、早急な確保体制をつくるべきでは。

**農林部長** 畜産分野における獣医師の高齢化や新規獣医師参入数の減少は全国的な傾向であり、今後は獣医師の確保が困難になると予想されます。県では従来の修学資金の貸付



8月に発生した土砂崩れ



江 渡 信 貴  
(高志会)

**議員** 行政情報や地域情報が一冊にまとめられた「暮らしの便利帳」の発刊時期や部数、配布方法及び内容の更新は。

**総務部長** 現在掲載内容の編集作業を行っており、市制施行十周年目を迎える来年一月を目途に全世界に直接配布します。部数については、市内全世界と転入者並びに北里大学生等への配布分を合わせて約三万冊としています。更新時期については、掲載内容の変更状況等を踏まえつつ、基本的には三年を目途としたいと考えています。

**議員** 「駒らん情報めーる」は内容、速報性が良くなっている。利用者数の推移と積極的に登録を呼びかける考えは。

**総務部長** 「駒らん情報め

## 「暮らしの便利帳」配布時期等は 来年一月に全戸配布予定

「暮らしの便利帳」は災害時の避難勧告などの緊急情報、気象情報、ライフライン情報などを配信しており、導入当初の登録者は約九百名でしたが、今年八月現在では約二千名です。このほか、災害等における消防団員の招集に活用するため、特定登録者として約五百名が登録しています。周知方法としては広報誌やホームページにQRコードを掲載していますが、今後あらゆる機会を捉えて積極的に周知し、登録者数をふやしたいと考えています。

**市長** 昨年の開催概要や運営状況、来場者アンケートの結果を取りまとめた報告書を実行委員会で作成しており、臨時駐車場やシャトルバスの利用状況、接客態度など、今後参考となる情報もあることから、来年の全国大会開催に向けて、これを活用したいと考えています。マニュアルについては、全国大会終了後に作成を検討したいと考えています。

**議員** B-1グランプリ本大会に向け、昨年の北海道・東北大会の検証結果を問う。また、その検証結果から、全国大会等大きなイベントに使える大量動員時の対応マニュアルを作成する考えは。



B-1 全国大会開催まであと1年